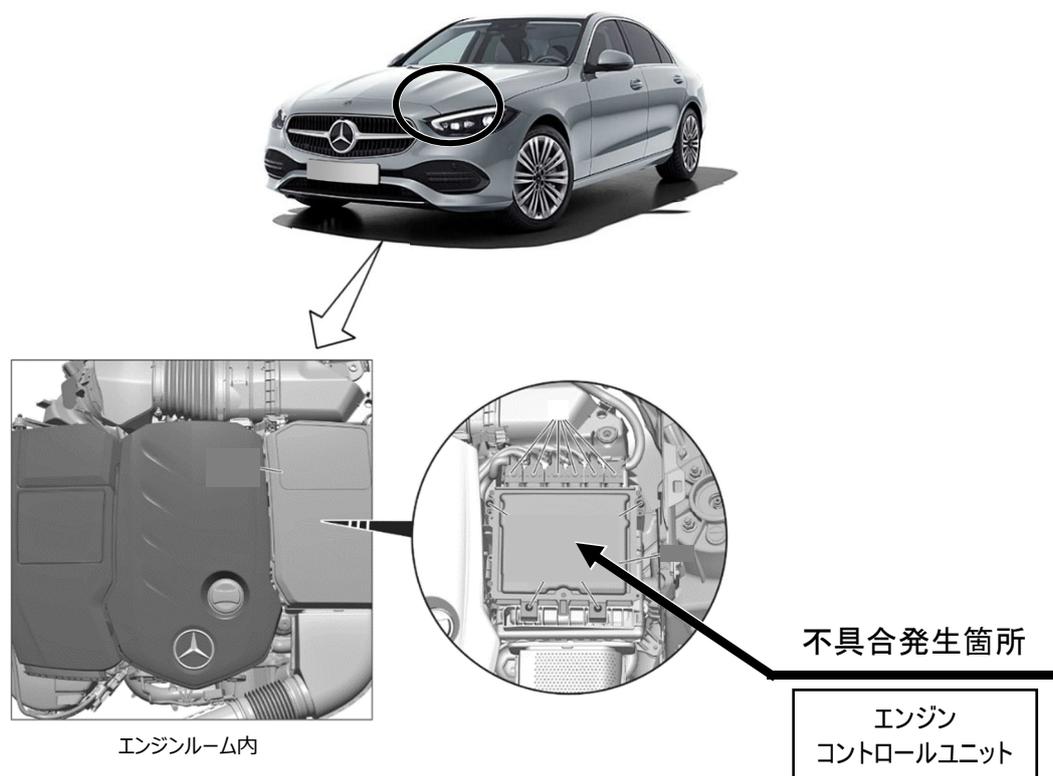


改善箇所説明図



注: は、対策プログラムに書き換える部位を示す。

エンジンコントロールユニットにおいて、制御プログラムが不適切なため駐車中にエンジンフードに当たる日射しの影響を受けて、温度センサが故障していると誤って自己診断することがある。そのため、エンジン警告灯(MIL)が点灯し、最悪の場合、エンジンがフェイルセーフモード(低速一定回転)になり、排出ガスが基準値を超えるおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジンコントロールユニットの制御プログラムを対策プログラムに書き換える。

識別：車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する